

新穂

資料館 友の会だより

第六十八号

「裂き織り作品」展

同時展示

新穂中学校一年生作品

展示期間

令和8年10月3日(土)から

令和8年10月25日(日)まで

主催 新穂さつこりサークル

共催 新穂の歴史と民俗を考える会

裂き織りの作品展を開催します。

「裂き織り」は「もったいない」の精神を基本にして、思い出の和服や洋服を裂いて織り込み、生き返らせます。物を無駄にせず、記憶を伝え続けるお手伝いをする活動だと思います。

「織り」は手を使い、頭を使い、そして足も使った作業ですが、体験された皆さんはとも満足してお帰りになります。

ここ数年は海外からの体験希望者も

多くなり、お互いに身振り手振りでも和気あいあい。世界で一つだけの織りに没頭して挑戦されています。

毎月、5の倍数の日が活動日です。今年の作品展も、新穂中学校一年生十三名の皆さんの作品を同時展示いたします。作品はどれも力作揃いですので、どうぞ足を運んでみてください。

新穂さつこりサークル

代表 本間 栄

―土田金二から麦僊へ―

「青雲の志」展

展示期間

令和8年9月27日(日)まで

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

好評を頂いております「青雲の志」展も開催期間が残り少なくなってきました。

是非、見ておいていただきたい展示品をご紹介します。

第一に麦僊少年時代の作品群です。おそらくは土田家の帳簿の裏に描かれた数々の絵は、次兄英二さんが「家宝」として子孫に伝えなければ散逸していた物です。

第二は、麦僊最晩年の書簡三通です。これらは今回初出の資料です。早世した麦僊の体調、そして作品作りにおける情熱と責任感がひしひしと伝わる手紙です。

この書簡は今後の麦僊研究にとって貴重な資料となるはずです。

(稲穂のつぶやき)

去る八月二十九日の上田文先生による講演会と展示解説会には想定を越える多くの方からご連絡を頂きました。その結果、会場の定員を超えてしまい、一部の方にはお断りすることになってしまいました。大変、申し分けなく思っております。

そこで、上田先生の講演資料を増刷いたしました。資料館受付にて、ご自由にお持ち帰りいただけます。

(若)

新穂歴史民俗資料館

0259(22)3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

※8月1日からPayPayでの支払いが可能になりました。

※月曜休館・入館は午後4時半まで

(月曜祝日の場合は翌日休館)

【令和8年9月10日 発行】